

ヤコブ — 救いは全て神のわざである(ヤコブ1:18)
しかし、本当に救われた者には、その実として「良い行い」
が確実にあらわれる。
その人の信仰が真の信仰であることが明らかにされる。
義と認められる

※「行いの伴った信仰」こそ、本当に救われた者の信仰である。

② ラハブの信仰 (25~26節)

ヨシュア2:9~11

※ラハブの行いは、この信仰に基づいたものであった。

3. 結論 (26節)

17年度版「からだは霊を欠いては死んでいるのと同じように、信仰も行いを欠いては死んでいるのです。」

神のわざによって救われ信仰が与えられた人には、信仰の行いが伴う。
行いが伴わない人の信仰は死んでいるのです。

ルターのことば

「ああ、本当の信仰とは生き生きとして、なんと力強いことか。
そのような信仰に少しの間でも良い行いが欠けているということはあり得ない。良い行いがなされたかどうかなどと尋ねることはない。そのようなことを尋ねる前に、すでに良い行いはなされている。それも絶え間なく……。けれども、そのような良い行いがその人のうちに見られないならば、そのような人は信仰者とは言えない。そのような人は懸命に信仰と良い行いについて探し求め、考えはする。しかし、いったい何が信仰で何が良い行いなのか、わかっていない。ただ、その人は信仰と良い行いについて、たくさんのことばを持って繰り返し口先で語るにすぎない。」

「信仰と行い」

ヤコブの手紙 2章14~26節

2022.2.6 浜寺礼拝

○著者について：ヤコブ

そんなヤコブの問いかけ

ヤコブ2:14「私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行いがないなら、何の役に立ちましょう。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。」

※「行いの伴っていない信仰」と「行いの伴った信仰」とはどのような信仰なのかを問いかけている。

1. 行いの伴っていない信仰[生きて働かない信仰/死んでいる信仰](15~20節)

① _____ (15~17節)

ただ言葉だけで、実際に行いをもって信仰の実践をしない。

Iヨハネ3:17~18「世の富を持ちながら、兄弟が困っているのを見ても、あわれみの心を閉ざすような者に、どうして神の愛がとどまっているでしょう。子どもたちよ。私たちは、ことばや口先だけで愛することをせず、行いと真実をもって愛そうではありませんか。」

※愛は「ことばや口先だけ」の態度には見出されず、「行いと真実」の態度に見出される。

→ 口先だけの信仰は死んでいる(17)

② _____ (18~20節)

真理は理解していても、心から真理を受け入れ従おうとしない信仰

テトス 1:16「彼らは、神を知っていると口では言いますが、行いでは否定しています。実に忌まわしく、不従順で、どんな良いわざにも不適格です。」

マタイ7：22～23「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行ったではありませんか。』しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』」
→ 従わない信仰はむなし(20)[「愚かな人よ」^ギケノス「空虚な、内容の無い」]

2. 行ないの伴った信仰[生きて働く信仰](21～25節)

エペソ2:10「私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。」

コロサイ3：9b～10「あなたがたは、古い人をその行いといっしょに脱ぎ捨てて、新しい人を着たのです。新しい人は、造り主のかたちに似せられてますます新しくされ、真の知識に至るのです。」

※本当に救われた者は、新しい生き方をする者へと変えられました。「行いの伴った信仰」とは、本当に主によって救われた者たちの信仰です。

① アブラハムの信仰 (21～24節)

21節と23節の出来事を比べると時系列的に23節が先におこった。

創15：6「彼は主を信じた。主はそれを彼の義と認められた」

※信仰とは、主とそのみことばへの無条件の信頼

● 従順なアブラハムと神様の約束：

- ウルからカナンへの出発(創12：1～4)

創12：4「アブラムは主がお告げになったとおりに出かけた」

へブル11:8「信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、これに従い、どこに行くのかわからないで、出て行きました。」

- イサクを通しての約束(創15：4～5)

- 試練に会うアブラハム(創22:1～14)

創22：1「神はアブラハムを試練に合わせられた」

創22：12「あなたの手を、その子に下してはならない。その子に何もしてはならない。今、わたしは、あなたが神を恐れることがよくわかった。あなたは自分の子、自分のひとり子さえ惜しまないでわたしにささげた。」

※アブラハムの行いは、その信仰が本物であることの証明となった。

ヤコブ2：21「行いによって義と認められた」

2：22「行いとともに働いた」→ 行いの伴った信仰

「信仰は行いによって全うされ」→ 行いによって

17年版「完成された」 信仰が明らかにされた

23節の「実現する」とは「満たす」の意味でアブラハムの行い(生き方)は創15：6のみことばを完全に満たすもの(明らかにするもの)となった。アブラハムの信仰とその行い(従順)の故に「神の友」と呼ばれた。

(Ⅱ歴代誌20：7, イザヤ41：8)

〈信仰と行いについて〉

義と認める(パウロとヤコブ)

パウロ — 救いの時、人間の行いに関わりなく、神が罪人を義なる者(神の目から正しい者)と宣言する主権的絶対的な行為

義と認められる

ガラテヤ2：16「ただキリスト・イエスを信じる信仰によって義と認められる。」

エペソ2:8～10「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇るためのためです。私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。」